

サバイバル日本語講座って？

親の仕事や国際結婚がきっかけで日本で暮らす外国人の子どもたちの数は年々増え続けています。簡単な日常会話は覚えるものの、小・中学校の授業や試験に出てくる日本語が分からないというのが子どもたちの最大の悩みです。日本に来た子どもたちに楽しい学校生活を送ってほしい、との願いから「サバイバル日本語講座」が開催されています。(2・3ページに関連記事)



日本語を母語としない子どもたちのための
サバイバル日本語講座 '07 in 八千代

日本語ボランティア部会

日本語を母語としない子どもたちに

サバイバル日本語講座'07 in 八千代

「サバイバル日本語講座」は、昨年まで(財)ちば国際コンベンションビューローの主催でしたが、本年度は八千代市と市川市でそれぞれ初めて開催することになりました。八千代市国際交流協会(日本語ボランティア部会)、(財)ちば国際コンベンションビューロー、八千代市の共催で、また外国人児童受入体制整備研究会と八千代市教育委員会が後援し、8月27日から29日までの3日間、村上公民館で開催されました。



▲カルタで遊びながら日本語を勉強しました

17名が参加 フィリピンがトップで12名

市内及び佐倉市から日本語を母語としない小・中学生が17名参加し、日常会話や学校生活で良く使われる日本語の学習に取り組みました。

参加者の国別内訳は、中国2名、ペルー3名、フィリピン12名でした。初日は千葉県国際交流センターの高橋センター長、八千代市国際交流協会の周郷会長が見守る中、開講式とクラス分けでスタートしました。

手作りの教材あり 身振り手振りの解説も

数学を学ぶ生徒、夏休みの宿題をする生徒、社会科を勉強する児童、絵本を読む児童等、8グループに分かれて授業が始まりました。ハンバーガー、ポテト、おにぎりで昼食を終えると、午後は中学生の授業、小学生は交通安全教室です。道路標識の見方、横断歩道の渡り方、自転車の正しい走り方など手作りの教材もあり、安全第一を体験し合いました。

続いて「防災について」の学習です。消防署のアニメビデオを見ながら地震の知識を確認し、火事の対応など身振り手振りで解説するボランティアに場内は大爆笑となりました。2日目の午前の授業終了後は、村上緑地公園へピクニックです。シートを敷いて真夏の青空の下、冷えた梨のデザートで昼食は終了となりました。

YLCと青年リーダーも積極的に協力

この後、八千代市子ども会育成連絡協議会のYLC(八千代・リーダーズ・クラブ)の中高生と青年リーダーが加わり、遊具やゲームに興じ、思いっきり汗を流しました。最終日は午前の授業終了後、「八千代食文化探訪倶楽部」がご好意で炊きたててくれた「高津のとめし」とフルーツゼリーに皆さん舌鼓を打たれたようでした。午後は昨日のピクニックですっかり打ち解けたYLCと青年リーダーと一緒にクラフトで折り紙の独楽や風車、チラシでかぶと等を作り、あっという間に時間が過ぎていきました。17名の参加者は、最後までYLCと青年リーダーから離れず賑やかに会話が続きしました。

お互いに 啓発し合えた3日間に

子どもたちからは、「サバイバルを1週間開催してほしい」「次回も数学を勉強したい」「クラフトが楽しかった」「YLCともっと遊びたい」との声が圧倒的でしたが、子どもたち同士が楽しく会話し、リラックスしながら学習できたことは、日本語ボランティア全員の大きな喜びとなりました。

前回までのサバイバル講座に参加した日本語ボランティアの経験を参考に7教室20名のボランティアが一同に集い、手作りの教材を工夫し、音楽の授業で使うリコーダーの指導もあり、お互いに啓発し合えた3日間となりました。



▲交通安全教室では歩道や車道の歩き方で



◀来日して間もない子にはひらがなを1つ1つ教えます



▼YLCのリーダーと一緒に「いただきます」の歌を歌いました

第1回日本語 スピーチコンテスト開催

日本語ボランティア部会 齋藤貴美子

10月13日(土)八千代台東南公共センターにおいて、日本語ボランティア部会による「日本語スピーチコンテスト」が開催されました。

市内6教室から中国、台湾、韓国、シンガポール、ペルー、ブラジル、フィリピンの学習者12名が日ごろの勉強の成果をスピーチに託し、緊張しながらも見事な日本語で発表しました。審査委員長賞には、ブラジルの田中ふみ子さんの「外国児童の教育に関して」が選ばれ、日本在住の子弟の日本語教育のあり方を真剣にスピーチし、参加者に感動が広がりました。

第二部では、全員で軽食を取りながら和やかに懇談が弾み、ハーブの生演奏も加わり優雅なひと時を過ごしました。初めてのスピーチコンテストは、学習者にとって更なる日本語習得を決意し合う1日となりました。



タイラー市親善訪問団 in 八千代2007

平成19年6月29日から7月3日までタイラー市親善訪問団（団長／ベティー・パウアー氏）33名が八千代市を訪れました。八千代市国際交流協会では、2007年タイラー市親善訪問団受入実行委員会（委員長・山口勇氏）を中心に委員が協力し、訪問団の受け入れを行いました。それでは、今回の楽しかった思い出を写真を通して、振り返ってみましょう。



▲お茶席は初めての体験。皆さん正座は苦手のようでした（6/30）



▲指先に「力」が入ります（6/30）



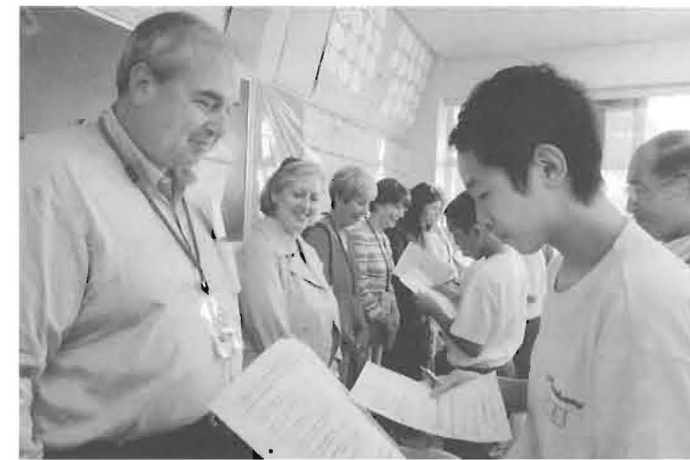
▲みんなで尺八を吹きました。音色も十分楽しめる？音でした（6/30）

▼バラ寿司、切ったら何が出るでしょう？（6/30）



▲シーバー市長を出迎える山口実行委員長（6/29）

◀八千代市長を表敬訪問したタイラー市親善訪問団（6/29）



▲学校訪問で訪れた村上中では、生徒から質問も出ました（7/2）



郷土博物館で恐る恐る？「籠」に身につけました。▶着付けは東京成徳大学の学生さん（7/2）

▼タイラー市を訪問した人たちの同窓会（YTFC）



おじゃまします —ALT(外国語指導助手)の紹介

現在、八千代市には6名のALT(外国語指導助手)の方が来られています。今回は、タイラー市から今年7月に着任されたばかりのジリアン・ライトフットさん、ペトラ・ロドリガスさん、バシマ・ナサーさんの3人にお話を伺いました。



ジリアン・ライトフットさん ペトラ・ロドリガスさん バシマ・ナサーさん

問 どのような理由からALTに応募されたのでしょうか。

ジリアン 元々他の国の文化に興味があって、他の国の人に英語を教えた経験もあったのですが、たまたま以前ALTで日本に来ていた人に話を聞いて、日本という国に興味を持ったからです。

ペトラ 私は、現在大学でアドバイザーの仕事をしている私の母が、私が外国に興味を持っていることを知って熱心に勧めてくれたからです。母はそれこそ何十通もメールをくれたんですよ。

バシマ 私の場合は、大学でお世話になった教授が勧めてくださいました。たまたま教授のお知り合いのなかに、八千代市とタイラー市の姉妹都市交流関係の知人がいたというご縁です。

問 日本あるいは八千代市の第1印象はどのようなものでしたか？

ジリアン フレンドリーな人が多いなと思いました。
ペトラ 第一印象は…とっても暑い！今年の夏は特に暑かったようですが、こんなに暑いとは思いません

でした。テキサスには乾いて暑い夏と湿気が多くて寒い冬だけで、四季というものがないので、日本の四季ある暮らしが楽しみです。それから、タイラーにいた時には徒歩か自動車、自転車に乗ることはほとんどなかったのですが、日本に来て自転車で走り回れることは新鮮です。

バシマ 私は夜がとても静かなのに驚きました。私の出身地ダラスでは、夜はもっと賑やかなのです。日本は、古いものと新しいものが混在していて、とてもおもしろいと思いました。

問 日本の子どもたちとタイラーの子どもたちに違いはありますか？ また、日本の学校で驚いたことなどがありますか？

ペトラ 学校に「清掃の時間」というものがあって、生徒たちが自分たちで学校の清掃をしているのに驚きました。子どもたちは互いに助け合うとか、人同士の距離が近い感じがします。(アメリカでは、清掃は専門の業者が行うのが普通なのだそうです)

ジリアン 私もそう思います。日本の子どもたちはと

ても人懐っこいですね。
バシマ アメリカの子どもより良い意味で子どもらしい(Childlike)と思います。これは子どもっぽい(Childish)という意味ではありません。アメリカの子どもたちは、良くも悪くも幼いころから様々な経験にさらされ過ぎていると思います。

問 日本や八千代市で、これからしてみたいことはありますか？

ジリアン 日本にいる内に、いろいろな所に行ってみてほしいですね。

ペトラ 私も！北海道とか京都とか…。

バシマ 私は日光に行ってみてほしいな。富士山にも登ってみたいし…。

ペトラ 旅行以外では歌舞伎に興味があって、一度は観てみたいと思っています。

問 好きな日本食は何ですか？逆に食べられないものはありますか？

ジリアン 寿司やうどんが好きです。でも納豆は駄目でした。

ペトラ 先日、1泊で蓼科に行ったのですが、そこで食べた「馬刺し」には驚きました。アメリカでは馬を食べる習慣がないので。それからシーフードは好きなのですが、「ウニ」だけは苦手です。(蓼科への旅行は、語学ボランティア部会が行った研修旅行にALTの皆さんも参加して下さったため実現したものです)
バシマ 寿司や唐揚げは私も好きです。果物では梨が特においしいですね。苦手なものは…「あずきのあん」ですね。(「梨」は八千代市の名産なので、たくさん食べてください)

ジリアン・ペトラ それは私たちも…。(意外なことに「あずきあん」が苦手な外国の方は多いようです。おもてなしの際には注意しましょうね)

ペトラ 果物と言えば、私、これまで「柿」というものを食べたことがないんです。これからがシーズンだというので、楽しみにしています。

問 最後になりましたが、将来、このALTでの経験をどのように生かしていきたいと思えますか？

ジリアン まだ日本に来たばかりで、分からないことだらけなんですけど、異なる文化をアメリカに紹介していけたらと思っています。

ペトラ 今後どうなるか分かりませんが、今とっても楽しいので、これからたくさん日本語を覚えて、できるだけ長く日本にいたいと思っています。将来は、この経験を生かして、大学の先生になれたらいいなと思います。

バシマ 私は、村上春樹や三島由紀夫など、日本の文学や昔話に興味があるので、この機会にそういった方面の知識を深めたいと思っています。アメリカに帰ったら、もう一度大学に戻って、日本の文学を研究してみたいと考えています。

このインタビューは、現在3人が日本語を勉強されている教室にお邪魔してお話を伺ったものです。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

当初は30分の予定でしたが、話がはずんで1時間ほどにもなってしまいました。3人とも何にでも興味を持って、ALTという仕事に取り組んでいるようでした。

まだ、日本に来られたばかりなので、戸惑うことも多いようですが、もし3人を見かける機会があったら是非、声を掛けてあげてくださいね。

19年度予算 決まる

八千代市国際交流協会の平成19年度予算が平成19年4月14日に行われた総会で決まりました。

その概要は、次のとおりです。

●収入		単位：円
科 目	金 額	
1. 会費収入	1. 会費収入	719,300
2. 補助金	1. 補助金	1,600,000
3. 繰越金	1. 繰越金	191,075
4. 雑収入	1. 雑収入	625
合 計		2,511,000

●支出		単位：円				
科 目	金 額	摘 要				
1. 事業費 1,674,000	1. インターナショナルデー 500,000	1. 謝金	160,000	出演者・協力者謝金		
		2. 必要費	310,000	ポスター制作・事務用品など		
		3. 役務費	30,000	イベント告知など		
	2. 広報事業費 220,000	1. 必要費	120,000	広報紙「cliP」印刷(2回)		
		2. 役務費	100,000	広報紙「cliP」郵送(2回)		
	3. 部会事業費 954,000	1. 部会事業費	954,000	姉妹都市部会、日本語指導ボランティア部会、語学ボランティア部会、国際交流推進部会		
			プリンタインクトナー等消耗品	73,000		
			2. 委託料	30,000	ホームページ制作委託料	
			3. 役務費	288,000	総会・理事会開催通知郵送等	
2. 事務費 792,000	1. 事務費 792,000	4. 備品購入費	30,000	電話機		
		5. 人件費	306,000	事務職員給与		
		6. 研修費	45,000	30人×@1,500円		
		7. 負担金	10,000	千葉県国際交流センター団体会費		
		8. 交際費	10,000			
		3. 予備費 45,000	1. 予備費 45,000	1. 予備費	45,000	
				合 計	2,511,000	

研修旅行に参加して

語学ボランティア部会 瀬下和正

晴天に恵まれた9月22日・23日、ALT(外国語指導助手)が参加して語学ボランティア部会の研修旅行が長野県蓼科高原で行われました。

この研修旅行は、部会員の語学研修と親睦を兼ねて毎年秋に行われています。今年の参加者は、ALT6名、アメリカ人教師1名、会員14名の計21名で、特にALTが全員参加した研修旅行は初めてです。

朝7時に八千代を出発し、習志野インターから一路信濃へ。午後には諏訪インターに着き昼食。白樺湖を巡り、スキー場として有名な車山山頂にケーブルで登山。蓼科山荘ではALTが英語で講演し、リ

スニングの勉強をしました。日米の教育の違い、日本の安全さ等大変興味ある講演でした。

翌日は、マリー・ローランサン美術館、蓼科湖、諏訪湖を見学し、「信州そば」の昼食、ぶどう狩りを楽しみ夕刻に帰着しました。皆さん、日本の秋を満喫した一日でした。



村上フルルガーデンで

「八千代で世界と出会おう」を開催

昨年度に引き続き、インターナショナルデーの一環として「八千代で世界と出会おう」が8月25日（土）に村上フルルガーデン噴水広場で行われました。

このイベントは、八千代市発“世界市民”を目指し、八千代市国際交流協会が更に成長していこうと行われたものです。ハワイアン、タイ舞踊、韓国農楽、メレンゲの4つが行われ、最後に全員合唱の「上を向いて歩こう」を歌ってフィナーレとなりました。

今年も展示ブースは、語学ボランティア部会、日本語指導ボランティア部会、国際姉妹都市部会の3部会。語学ボランティア部会には、英語、韓国語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語が堪能な人たちが38人おられます。アメリカ合衆国タイラー市との姉妹都市交流や防災・検診などへの翻訳・通訳の協力を行っているほか、部会内の親睦を図るため語学研修会などを定期的に行っています。また日本語指導ボランティア部会では、村上公民館、八千代台東南公共センター、阿蘇公民館で行われる7教室で外国人の皆さんの日本語学習のお手伝いをしています。国際姉妹

▼民族衣装を着て踊るタイの人たち



都市部会では、タイラー市との交流事業を行っています。これまでに八千代市からは延べ177人がタイラー市を訪問し、タイラー市からは延べ232人が八千代市を訪れ、友好の輪を広げています。

▼観客席から舞台に入る韓国の人たち



会員募集

八千代市国際交流協会では、次の4つの部会の会員を募集しています。

- ▷部会名／国際交流促進部会・語学ボランティア部会
・国際姉妹都市部会・日本語指導ボランティア部会
- 年会費…個人：2,000円 家族：3,000円 学生：1,000円 サークル：10,000円
- 入会方法…①会費を持参して直接事務局で入会手続きをする②氏名・住所・電話・ファックス・希望する部会を事務局に郵送し、口座に会費を振り込む（千葉銀行大和田支店〈035-332464〉八千代市国際交流協会会長・周郷紀男〈スゴウミチオ〉）のいずれかをお願いします。
- 詳しくは事務局（八千代市役所国際推進室内 047-483-1151）までお問い合わせください。

編集後記

クリッピー第3号を皆様のお手元に届けます。今号では、盛んに行われた各部会の行事レポートです。国際姉妹都市部会は、6月にタイラー市から33名の親善訪問団の受け入れを行い、語学ボランティア部会では9月に研修旅行を行い、日本語指導ボランティア部会では8月にサバイバル日本語講座を村上で行いました。このほか企

画委員会では8月に第2回「八千代で世界と出会おう」を行いました。語学ボラの研修旅行の夕食会で長野名物の馬刺しが出ましたが、食べられないALTがおり文化の違いを感じました。サバイバル日本語講座では日本語研修と共に参加の皆様が友だちになれて良かったようです。「八千代で世界と出会おう」では軽快な音楽に乗せて踊り出し、とても楽しそうでした。海外との交流等に興味のある方は是非当会にご参加をお願いいたします。